

発行月日 平成30年10月20日  
 〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部2-14-1  
 ☎046-851-2362 FAX 046-851-2332

社会福祉法人 春光学園  
 児童養護施設 春光学園  
<http://shunko-gakuen.jp/index.html>

## 春光学園後援会 役員会開催

平成30年5月15日に社会福祉法人春光学園後援会役員会が役員11名出席のもと開催されました。

冒頭、丸山明彦後援会長から、役員の方々の日頃の行事への支援や熱心な会員拡大の活動に対する謝意が述べられ、次いで、森田常夫春光学園理事長から後援会に多数の皆様が会員として加入され、これまでも多額のご芳志が寄せられ、学園の子どもたちの個別学習や専門学校等への進学のための奨学金として活用している事の報告があり、感謝の言葉を述べられました。この役員会に先立ち、平成30年4月24日には後援会平成29年度事業の会計監査及び後援会三役会が開催され、後援会の活動状況の報告や支援策が検討されました。その中で、三役会は昨年度と同様に ①子ども達に対する個別学習支援及びキャリアカウンセリング、②大学・専門学校等に進学する為の奨学金支給、③就職支度資金支給 を三本柱とする支援策を検討し、役員会に諮ることが決定されました。役員会では、三役会から上記についての提案がなされ、後援会と春光基金それぞれの平成29年度事業報告・決算報告・会計監査報告、平成30年度事業計画・予算が承認されました。

### 後援会基金の使用状況

平成29年度の後援会基金使用状況は ①専門学校進学者への奨学金(ブライダル分野専門学校進学者1名に授与)、就職者への就職支度金(高校を卒業し就職した5名に授与)、資格取得資金(運転免許を取得した2名に授与) ②学習支援講師、キャリアカウンセリング講師謝礼及び教材購入費(学習支援用の参考書等) ③器具什器(卓球台、掛け時計、テレビ等)購入費です。

平成30年度も、①専門学校2年生1名への奨学金、就職予定者3名への就職支度金 ②学習支援講師、キャリアカウンセリング講師謝礼及び教材購入費に使用させていただく予定です。現在、高校2年生が11名在籍しており、来年度以降多額の支援金が必要となる状況であることから、後援会員の皆様には変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

### 平成30年度後援会収入と会員数

(平成29年度春光基金決算及び30年度予算)

平成29年度の春光基金の決算と平成30年度予算が、5月15日の春光学園後援会役員会にて次のとおり承認されましたのでご報告します。

#### 1 平成29年度会員登録者および会費納入状況

	個人	法人	合計
会員数	347人	89法人	436
納入会費	¥2,099,016		

#### 2 平成29年度の春光基金決算

収入

科目	金額	摘要
前年度繰越金	254,100	
後援会からの操入金	1,380,000	
会費	288,000	

利息	9	
合計	1,922,109	

支出

科目	金額	摘要
通信運搬費	132,628	広報紙送料
印刷製本代	126,489	広報紙用
手数料	5,424	
学習支援講師謝礼	162,880	
キャリアカウンセリング講師謝礼	256,151	
学習支援教材費	55,446	教科書・問題集他
キャリア参加児童食事代	4,633	静岡大学訪問
奨学金費	120,000	女子1
就職支度費	650,000	男子2、女子3
資格習得費	200,000	男子1、女子1
器具什器購入費	177,373	卓球台、時計、テレビ
次年度繰越	31,085	
合計	1,922,109	

#### 3 平成30年度の春光基金予算

収入

予算科目	金額	摘要
前年度繰越金	31,085	
後援会からの操入金	1,421,910	
会費	280,000	
利息	5	
合計	1,733,000	

## 支出

予算科目	金額	摘要
通信運搬費	116,000	広報紙送料
印刷製本代	40,000	広報紙用
手数料	7,000	
学習支援講師謝礼	500,000	
キャリアカウンセ リング講師謝礼	280,000	講師1名
学習支援教材費	60,000	学習参考費
奨学金費	240,000	女子2名
就職支度費	390,000	男子2名・女子1名
資格取得費	0	
器具什器購入費	0	
予備費	100,000	
合計	1,733,000	

## 社会福祉法人春光学園 理事会と評議員会の開催

平成30年5月24日に法人理事会が開催されました。初めに法人及び各施設の運営状況が報告されました。次に平成29年度の法人本部、児童養護施設春光学園、三和こども園及びみつわクラブの事業報告(案)と決算報告(案)があり、石井監事、小野監事からはいずれも良好な運営状況であることが報告されました。議案については、審議の後に理事全員の賛成で議決されました。

6月12日には評議員会が開催され、理事会と同様の報告をし、議案について、審議の後に議決されました。

### 春光学園活動報告

## わんぱく相撲横須賀場所参加

平成30年4月21日に小矢部わんぱく相撲場にて「わんぱく相撲横須賀場所」が開催され、春光学園の子ども達も衣笠小学校の代表として参加しました。

## 衣笠小学校 春の運動会

平成30年6月2日、青空の下で衣笠小学校の運動会が行われました。今年は青組が優勝しましたが、赤組も競技に応援と頑張っていました。お昼には保護者の方、児童相談所の方や学園の職員とおいしいお弁当。とても楽しい一日でした。青組の皆さん、優勝おめでとうございます。



## 神奈川県児童福祉施設 第56回 卓球大会参加

平成30年6月10日に三浦市の潮風アリーナにて神奈川県児童福祉施設卓球大会が行われました。今年は小学生男子の部で高橋竜広君が準優勝を果たしました。おめでとうございます!! 参加した子ども達もみんな頑張っていて素晴らしい試合をしていました。



## 児童福祉施設 野球・ソフトボール大会

平成30年8月6、7日に保土ヶ谷球場で児童福祉施設第58回野球大会・第55回ソフトボール

大会が行われました。ソフトボール部は6日に横浜家庭学園と、野球部は7日に聖母愛児園と対戦しました。子ども達はこの日の為に暑い中毎日練習に取り組ん

できました。結果は惜しくも負けてしまいましたが、子ども達は最後まであきらめずに頑張っていました。又、ボランティアの伊澤さん、素敵な写真を撮って頂きありがとうございました。



## 衣笠小学校との情報交換会

平成30年6月14日に春光学園において衣笠小学校との情報交換の連絡会を行いました。お忙しい中ご参加いただいた井上泉校長先生をはじめとした教職員の皆様、ありがとうございました。

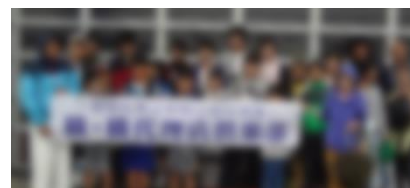
### 招待・交流・寄贈等報告

## ヨット乗船招待

平成30年5月20日に諸磯ヨットオーナーズクラブの皆様が今年もヨットの乗船体験の招待をして下さいました。昭和50年代から40年以上も続いています。毎年子ども達が楽しみにしている招待行事です。子どもたちはヨット遊覧や釣りをし、一日楽しく過ごすことができました。諸磯ヨットオーナーズクラブの皆様、ありがとうございました。

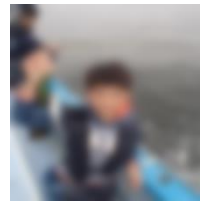


## 船釣り招待



平成30年6月23日に横・横代理店倶楽部様の招待で、走水の高取丸での船釣りを

してきました。キス、ハゼ、ホウボウなど沢山の魚を釣ることができ、とても楽しく過ごすことができました。釣った魚はお刺身、てんぷらにして美味しくいただきました。毎年の招待ありがとうございました。



## 横須賀友の会 料理教室

平成30年7月7日に小学生4~6年生の子ども達が横須賀友の会の調理教室に参加して、友の会の皆様に手伝っていただき、ピザやゼリー等を上手に作る事が出来ました。横須賀友の会の皆様、ありがとうございました。



平成 30 年 10 月 20 日

〒238-0015

神奈川県横須賀市田戸台 26

TEL : 046-822-0479

FAX : 046-822-0471

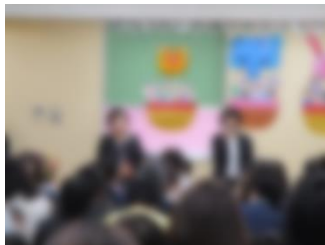
## § 園長よりあいさつ §

新年度がスタートし、半期が過ぎました。この間、子どもたちは色々な経験を重ね、心身ともに大きく成長しました。過日行われました運動会では、その成長ぶりをご家族の皆様と喜び合うことが出来、大変うれしく思いました。

さて、消費税率引上げ時の平成 31 年 10 月 1 日からの実施を目指し、3 歳児から 5 歳児までの子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料が無償化されます。子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化が一気に加速することとされました。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組まれるものです。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する 3 歳から 5 歳の全ての子どもたちの利用料が無料になります。ただし、実費として徴収されている費用は、無償化の対象外です。また、0 歳から 2 歳の子どもたちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化されます。

幼児教育・保育の重要性は私たち職員も強く感じ、その責務を負うと同時に喜びと誇りをもって取り組んでいます。ただ、そこで懸念することは、無償化になることで入園希望者が多くなり、待機児童が増えるのではないかとということです。保育士が不足しているという現状もあり課題は山積みですが、できる限り行政の力となり、子育てに悩む保護者に寄り添ってゆけるよう、職員が一丸となって努力したいと考えています。



## § 入園式 §

4 月 7 日（土）入園式が行われました。当日はお天気が心配されましたが、何とか無事に入園式・保護者会を行うことができました。

今年度は 17 名のお子さんが三和こども園の仲間になりました。

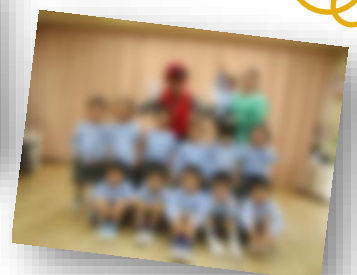
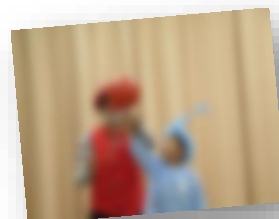
ゆり組 5 歳児からの歓迎の言葉や歌のプレゼントがあり、ついで理事長・園長よりあいさつと、小さい赤ちゃんにとっては少々長い時間ではありましたが、保護者の隣にちょこんと座ったり抱っこしてもらったりして、最後までしっかり参加してくれました。

これから先、お誕生会や運動会・季節の行事など様々なイベントを経験する事になりますが、健康に気を付けながら楽しんで参加して欲しいと思っています。

## § ピエロのバルーンアートショー §

4 月 27 日（金）『無限大舞夢』さんという、ピエロのパフォーマーにお越しいただき、バルーンアートやマジック、パントマイム・ジャグリングなどをみせていただきました。最初、ピエロが登場すると「こわい！」と泣き出す子もいましたが、スピード感のあるパフォーマンスに、いつのまにか泣き止み、みんな笑顔になっていました。

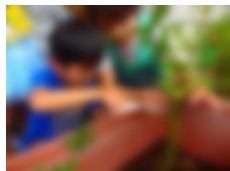
とても楽しいひとときを過ごすことができました。



## § お泊り保育 §

7月6日～7日（木・金）ゆり組年長児の大きな行事の一つである、お泊り保育が行われました。今年は、28名全員が体調を崩すこともなく元気に参加することが出来、何よりでした。

この日のために、5月から育ててきたナス・オクラ・トマト・トウモロコシ（残念ながら収穫に至らず・・・）を使って皆でカレーライスを作ったり、お泊り保育の楽しい思い出を卒園の日に



思い出すために、園庭にタイムカプセルを埋めたりして、一人ひとりが自分の任された役割を張り切って務めていました。

そして、食後には楽しみにしていた（？）お化け屋敷。グループごとに力を合わせ、子どもたち同士励ましあいながらゴールまでたどり着き、お化けさんからごほうびをもらうことができました。



たくさんのイベントをこなして疲れたのでしょうか。夜布団に入るとあっという間に夢の中・・・翌日、お家の方のお迎えの時には、やり遂げた満足感が子どもたちの顔からあふれていました。



## § 運動会 §

9月29日（土）、横須賀サブアリーナにて運動会が行われました。

当日はあいにくのお天気でしたが、今までの練習の成果を一目見ようと、園児の保護者やおじいちゃまおばあちゃま、地域の方が多数会場に足を運んでくださいました。

小さな赤ちゃんによるハイハイ競争や楽しいダンスなど、和やかな種目もあれば、リレーや騎馬戦など真剣勝負の種目もあり、ご覧になっている方々も楽しんでいらっしやった様ですが、やはり最後は年長組によるマーチングで、有終の美を飾ってくれました。今年は現地で練習する機会があまりとれず、担任の先生は少々



不安を抱えながら当日を迎えた様ですが、子どもたちはそんな不安を吹き飛ばし、とても立派な姿を見せてくれたので、前で見守りながらひそかに涙が出てしまったのだそうです。

運動会が終わってほっとしたのもつかの間、次の週からは早速12月に行われる生活発表会の練習を始めた子どもたち。次回はまた一段と成長した姿を見せてくれることでしょう。



## § 編集後記 §

平成30年度がスタートしたと思いきや、あれよあれよという間に半分が過ぎてしまいました。今年度から『みつわこどもえんだより』の発行が年3回となったため、大きなイベントのみ紹介させていただくこととなりますが、子どもたちは一つひとつの行事を通じて着々と成長を遂げていますので、今後もできる限り詳細に子どもたちの様子をお伝えしてゆきたいと思っています。

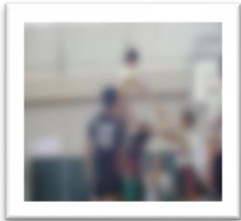


## ライジングサン 交流

平成30年7月8日に毎年交流していただいているライジングサンの皆様に今年も来ていただきました。本職の方が作った冷やし中華をおいしくいただきました。毎年の交流会、ありがとうございます。

## 神奈川県警

### 県立横須賀高校ラグビー部交流



平成30年7月23、24日に神奈川県警、県立横須賀高校ラグビー部の皆様が来園し、幼児寮とソフトボール部の子ども達が交流をしました。1日目は衣笠小学校の体育館でタグラグビーを行い、2日目は衣笠商店街の清掃を行いました。毎年交流していただきありがとうございます。

衣笠商店街の清掃を行いました。毎年交流していただきありがとうございます。

## 横須賀中央ライオンズクラブ

### 丹沢BBQ招待



平成30年7月25日に今年も横須賀中央ライオンズクラブの皆様が丹沢「河内川ふれあいビレッジ」でのBBQと水遊びに招待して下さいました。一緒にBBQを行い、

又、川での水遊び。暑さを吹き飛ばす楽しい招待でした。横須賀中央ライオンズクラブの皆様、毎年の招待ありがとうございます。

## 学園海水浴

### 米海軍横須賀基地NAVFAC・NOAWC 横須賀西ロータリークラブとのBBQ



平成30年7月27日に長浜海岸で学園海水浴と、米海軍横須賀基地NAVFAC、NOAWC様、横須賀西ロータリークラブ様とのBBQを行いました。幸い晴

天に恵まれ、午前中は海水浴を楽しみ、昼からはNAVFAC、NOAWCの皆様が準備してくれたBBQを頂いたり、横須賀西ロータリークラブ様が準備したスイカ割りをして楽しみました。米海軍横須賀基地NAVFAC、NOAWC、横須賀西ロータリークラブの皆様、ありがとうございました。



## さくらんぼ寄贈

今年も山形県村山市の「こめやかた」様より、たくさんのさくらんぼの寄贈がありました。夕食のデザートとしていただきましたが、子ども達はおいしいさくらんぼに大喜び。毎回の寄贈ありがとうございます。

## 果物の定期便

定期的に池上の石渡様から果物の寄贈があります。長年にわたっての寄贈で、プロの目で選んだ旬な美味しい果物を、食後のデザートやお夜食にいただいています。石渡様、毎年の寄贈、ありがとうございます。



### 後援会員の皆様へ

後援会費の振り込み用紙を7月にお送りしましたので、平成30年度の春光学園後援会費の納入がお済みでない方は納入をお願いいたします。

### 5～9月にご支援を頂いた皆様

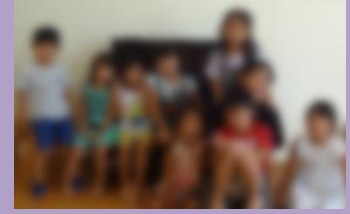
在日米海軍横須賀基地NAVFAC様・サリバンスクール様・米海軍第七艦隊旗艦ブルーリッジ様・米海軍第七艦隊様・空母ロナルドレーガン様・神奈川県福祉事業協会様・住友重機械工業(株)様・横須賀三浦遊技場協同組合様・観音崎自然博物館様・神奈川県観賞魚親睦会様・横・横代理店倶楽部様・国際ソロプチミスト横須賀様・オカムラ様・湘南衣笠ゴルフ(株)様・(株)大神様・(有)辰若様・(株)不二環境サービス様・横浜西ロータリークラブ様・横須賀西ロータリークラブ様・横須賀中央ライオンズクラブ様・横浜銀行様・諸磯ヨットオーナーズクラブ様・(社)キッザニア東京様・横浜F・マリノス様・横浜DeNAベイスターズ様・横須賀友の会様・横浜ピアノ調律学院様・ライジングサン様・セカンドハーベストジャパン様・フィリップモリスジャパン(合)様・(株)スワン商会様・こめやかた様・衣笠商店街様・チュチュアンナ様・(有)覚満寺運送様・Miura Sewing Ohana様・ムッシュタルト様・(株)城水様・衣笠商業連合会様・トーヨー様・三橋園様・立正佼成会横須賀教会様・NPOなんとかなる様・大松寺様・神奈川県養豚協会様・中国家庭料理山東様・ベースFLCY様・横須賀警察署・横須賀高校ラグビー部・衣笠地区青少年育成部会・神奈川県警・テレビ朝日福祉文化事業団・パレス会館様・ゴールデンパレス様・リッチランド様・ニューリッチ様・キコーナ横須賀店様・久里浜中央自動車学校様・タリーズコーヒージャパン様・第一衣笠町内会様・浦様・向島様・辻口様・澤田様・小田切様・河合様・長澤様・濱田様(三浦市)・岩崎様(眞)様・岩崎(優)様・前島様・中野様・佐藤様・小山様・松本様・関本様・根本様・田中様・岩崎(次)様・濱田様・西山様・有田様・渡邊様・石渡様(池上)・中田様・伊澤様・上地様・柳原様・石間様・伊藤様・林様・長谷川丸岩瀬様・鈴木様・柴崎様・長井様・圓山様・神渡様

## 衣笠歳時記 その32

春光学園長 児山秀一

さわやかな秋空の季節となりました。先日の十五夜では、子どもたちは思い思いにうさぎ饅頭を美味しく頬ばり、愛らしい笑顔を振りまいていた。

思えばこの夏は、本当に暑かった。6月末に梅雨が明け、それからが長かったこと。7月、8月と全国での報道でも連日熱中症情報が流れていた。8月下旬から9月に入り全ての学校も幼稚園も始まり、職員も“ホット”した様子を見せていた。



さて、今年の夏の全国高校野球は、毎回熱戦で見ごたえがあった。特に準優勝した秋田県の金足農業高校は、優勝した大阪桐蔭高校よりも全国的に応援がすごかったような気がする。優秀な選手集めが難しい公立高校、それも農業高校で、選手全員が地元出身。冬は雪の中で思うように練習が出来ず、滞在費集めも大変な中、さまざまな悪条件を克服し、全力で立ち向かった姿はとても感動的だった。自分が置かれた状況を嘆くことなく、ベストを尽くすこと。それはスポーツの原点であり、生きていく上での大切なことだと思う。

同じ時期、8月6日、7日の2日間、県下の野球大会、ソフトボール大会は、保土ヶ谷球場で猛暑の合間に行われた。今年は、例年になく猛暑ということで、開会式、閉会式がなく、時間短縮で試合時間は双方とも60分。更に、試合実施の可否におけるWBGTの導入。雨天による大会日程のこともあり、2日間で終了した。野球大会の優勝は、強羅暁の星園が2連覇。ソフトボール大会の優勝は、聖母愛児園が初優勝。学園の子どもたちも連日の猛暑の中、真っ黒になって練習して挑んだが、それぞれが初戦で敗戦。実は、双方とも補欠がいなく、ぎりぎりのメンバーで参加したのであった。子どもたちの中には、初めて試合に出る子もいて、更に、ボールが怖く打席では避けていた子もいた。また、キャッチボールでは、墨間も届かなかった子が、練習の成果で肩が強くなり届くようになった子。バットも碌に振れなかった子が、遠くへ飛ばせるようになった子。そして、ドンマイ精神で、誰ひとり非難する子もなく、みんなでカバーしては、互いに大声を出して頑張っていた。ソフトボールは、今村賞(模範試合賞)をいただいた。学園の子どもたちは、どの子も望んで入所してきた訳ではないが、金足農業高校の野球選手のように、自分の置かれた状況を嘆くことなく、前に向かってベストを尽くしていくことを少しは学んでいって欲しいと、密かに思った夏の1ページであった。

話は変わり、このところ学園では、子どもたちの成長に合わせながら、「生い立ちの整理」を行っている。学園で暮らす子どもたちは、自分の誕生や何故学園で生活しているのか、親はどこにいるのか、また、自分の存在について負い目や疑問を持って暮らしている。何故このようなことを行う必要があるのか、その理由は三点ある。まず一つ目は、子どもが自己否定に陥ることを回避しなければならない。入所理由を正しく理解することが重要なのだ。兎角学園の子どもたちは、「生まれてくるんでなかった」、「誰も自分のことなど認めてくれない・・・」「どうせ自分は・・・」といった負い目を持っている。二つ目は、子どもの権利擁護の点から、「知る権利」が子どもたちにあることだ。当事者である子どもたち自身の人生として。そして三つ目は、親との関係性を子どもたち自身で再構築するためでもあるからだ。スタートラインに付くまでには、児童相談所など関係機関と周到な準備をしていく。そして、子どもの成長段階に合わせて、数回実施していく。いつ、どのタイミングで行うか？その際、職員はどう役割を担うか？しかしながら、いくら準備していても、実際はなかなか難しいのが現状だ。出生の告知をどこまで伝えたいのか？辛い事実と対峙していかねなければならないからだ。たとえば、何故不適切な対応を受けて入所したのか？戸籍に父親欄が記載されていないのはどうしてか？兄弟(姉妹)がいながら、ひとりだけ学園で暮らしていること。また、兄弟(姉妹)でありながら実は、片方の親が違っていたことなども判明する。服役していたこと、薬物のこと、若年出産、病気等、さまざまなことに向き合うことになる。事実を知るとは、ショックや痛みが伴う。不満や悔しさ、やるせなさなど揺らいだ感情も出る。職員も同じように辛い気持ちを強えられる。しかし、それでも自尊心や自己肯定感を育み、覚悟を決めて生きる。決してひとりではないこと。過去を乗り越えて強く生きて欲しいと、職員は子ども一人ひとりに向き合い、寄り添って支援しているのだ。そういった理由から、学園で育つ子どもたちには、意欲を持って力強く未来に向かって生きていくためにも、どうしても「生い立ちの整理」が必要なのだ。

そうは言っても、子どもたちの生きてきた軌跡は、やはり辛いなと思う秋の夜長であった。